

令和2年度

山形県立保健医療大学 保健医療学部

A0 入学試験（地域枠）

小論文

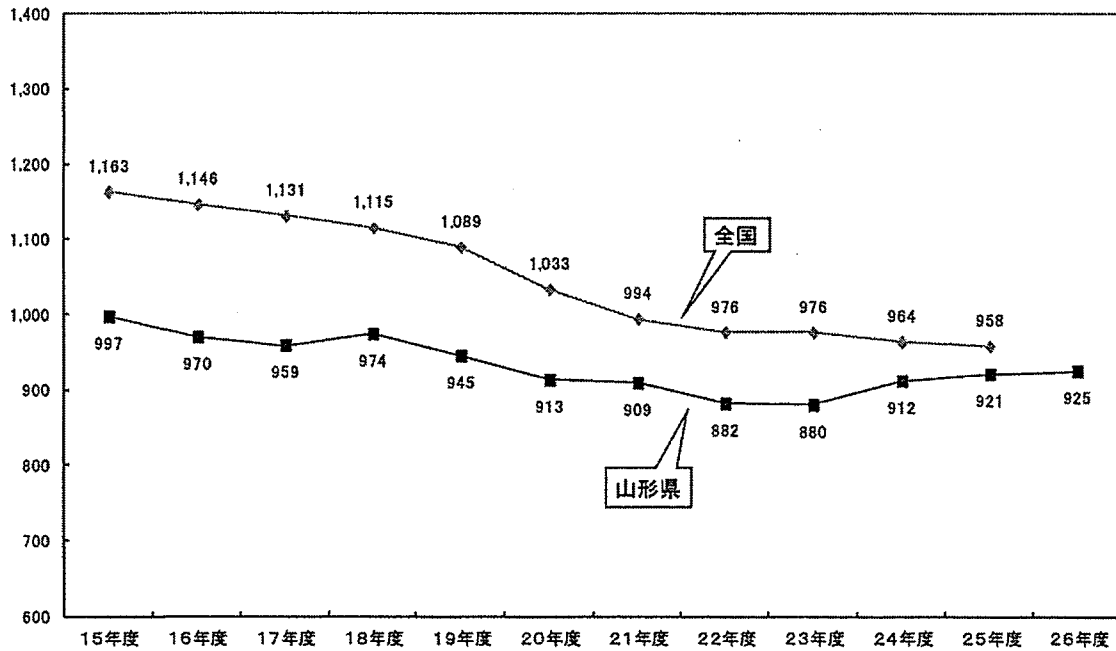
注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題用紙は2ページ、解答用紙は2枚です。
試験開始の合図とともに、直ちに問題用紙と解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
- 3 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
- 5 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
- 6 解答用紙（ホッチキス止め）を切り離してはいけません。
- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
- 8 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1

以下の表は、1人1日当たりのごみ（一般廃棄物）の全国と山形県の排出量を示したものです。平成15年度から平成25年度にかけて、全国の排出量は減少傾向にあります。山形県は平成24年度以降増加傾向にあります。環境省では、ごみを減らし資源を有効的に繰り返し使う社会（循環型社会）実現のため、「3R（スリーアール）」（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用）を提唱しています。山形県でも「第2次山形県循環型社会形成推進計画（中間見直し版）」を策定し、循環型社会実現のためごみを減らす取り組みを行っています。表を参考にしながら下の間に答えなさい。

表 1人1日当たりのごみの量 (単位：g)



※1人1日当たりのごみの排出量の算定方法：

(市町村による処理量+集団回収量) ÷ 県内の総人口 ÷ 年間日数

出典) 山形県ホームページ 第2次山形県循環型社会形成推進計画【中間見直し版】
 ~ごみゼロやまがた推進プラン~, 平成28年3月
https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050010/files/2gomi2ero2_all.pdf より
 一部改変

問 あなた自身が、ごみの発生抑制、再利用、再生利用について行っている取り組みの具体例を挙げ、山形県のごみを減らすことの意義について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

2

下に示した情報をもとに、以下の問に答えなさい。

平成 30 年度の山形県の肥満傾向児の出現率

【男子】 6 歳 7.99% 全国 3 位 (平成 29 年度: 7.08% 全国 4 位)

9 歳 15.39% 全国 1 位 (平成 29 年度: 10.67% 全国 17 位)

【女子】 8 歳 11.61% 全国 1 位 (平成 29 年度: 9.18% 全国 6 位)

16 歳 12.51% 全国 1 位 (平成 29 年度: 7.46% 全国 25 位)

平成 30 年度学校保健統計調査結果速報から

全国と比べて、男子は 5 歳の 2.50% (全国 2.58%) と 13 歳の 8.01% (同 8.73%) を除く年齢で、また女子は全年齢で上回っている。

出典) 山形県ホームページ 統計やまがた 2 月号, 平成 31 年 2 月 28 日発行

特集 山形の子どもたちの発育と健康

(<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/data/gepp/tokeiyamagata3102.pdf>)

問 山形県の肥満傾向児の出現率についてどのようなことが読み取れますか。また、それについてあなたの考えを 600 字以内で述べなさい。